

# 田園に囲まれた健康的な環境で 県産材のスギをふんだんに用いた ゆっくりくつろげる住まいを実現

徳島県 川上さん



4人家族／夫33歳、妻32歳、長女9歳、長男7歳

工事費  
**3,100**万円

家具工事・  
設備工事含む

ご主人の司朗さんは、競艇選手。レースのない日にゆっくりくつろぐのにいい住まいを望んでいた。はじめは、純和風にと考えたが、奥様の反対に。住宅展示場にもしつくりくるものが見当たらぬ」。

そんなころ、知人の紹介で出会った設計者の手がけた家を見て、ショックを受ける。「自分もこんな家を」とすぐに決めて、要望を生かした家を設計してもらうことに。

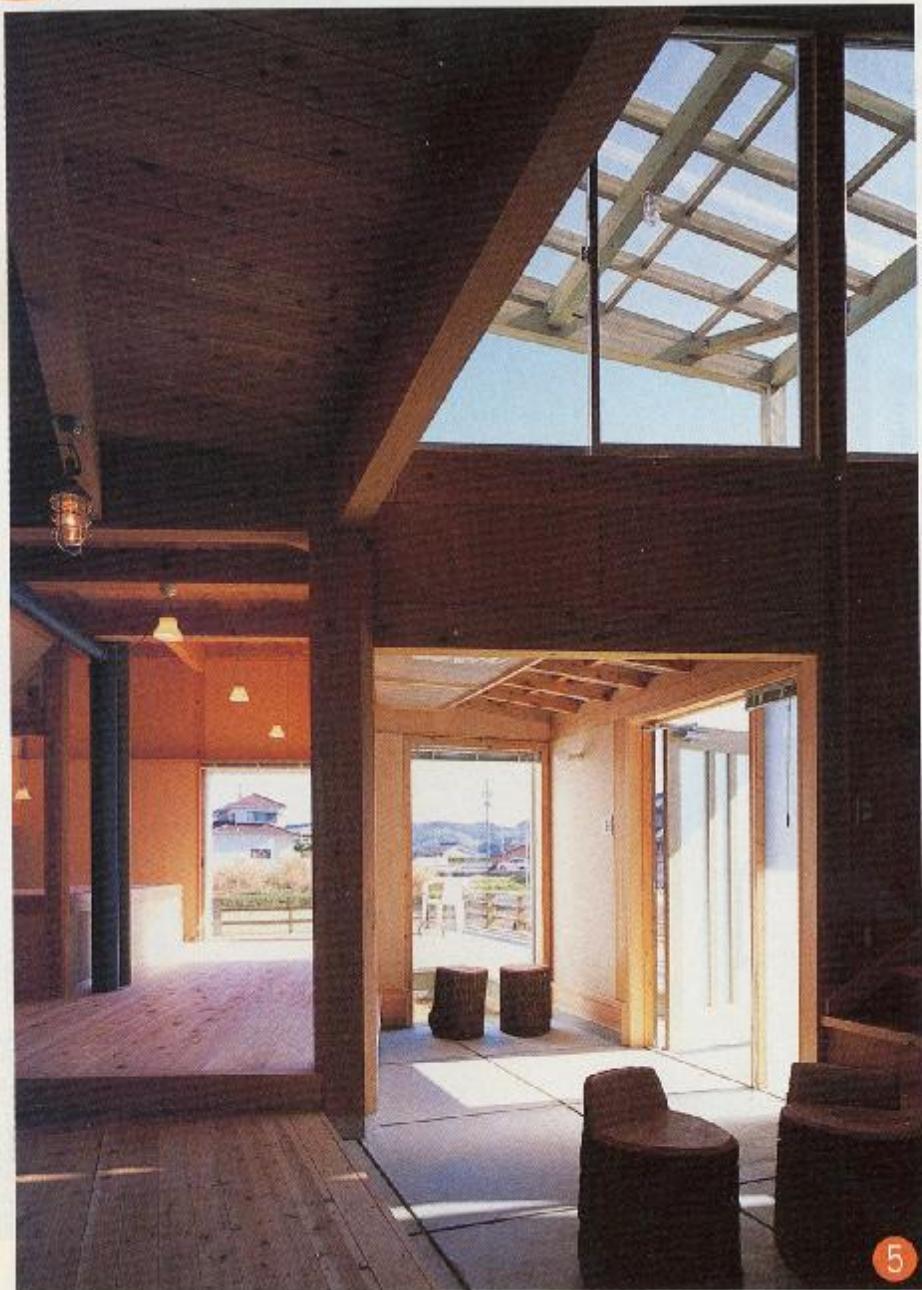
川上さんの家は、2カ所に設けた階段で、細かく5段階のレベルに分かれる家中を回遊できるプラン。ハレの空間として内壁をシナ合板張りにした正方形の棟と、ケの空間としてラワン合板で仕上げた三角形の棟とを組み合わせている。

田園に囲まれた環境は、健康そのもの。無農薬の米づくりに取り組み、自然や近所と密にかかわる暮らしを送っている。



① 1階のダイニング。床、天井とも地元産のスギを使った木質感のある空間で、むき出しの梁もインパクトを与えてる。ダイニングにぶら下げる船舶用照明がおもしろい。② 2階のホールから、上下階のつながりを見る。コンクリート壁の向こうが廊下で、正面の本棚の向こうの寝室に通じている。右手、ガラス戸の外はデッキバルコニー。



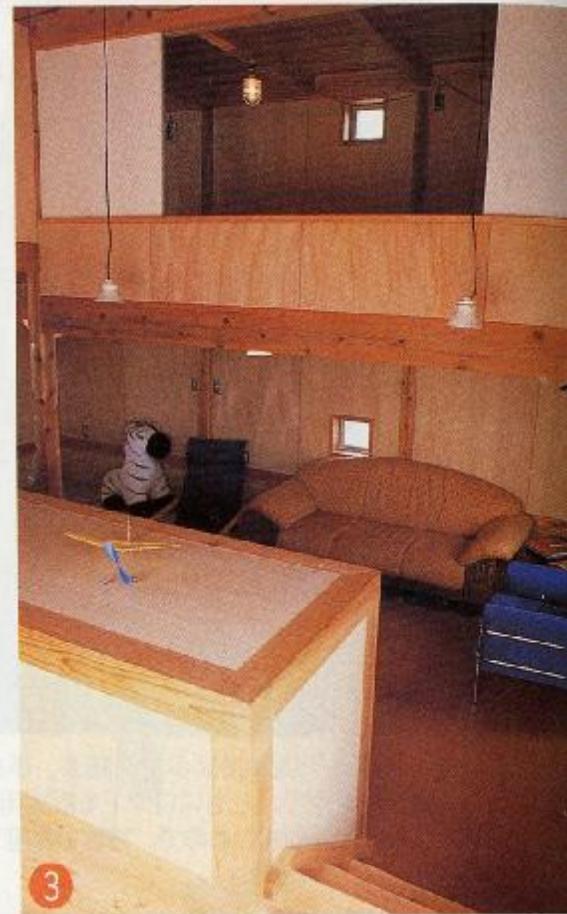


5

④玄関に続く土間には薪ストーブを置いて、家全体の暖房をカバー。手前のダイニングと階段との間は、スノコを渡って行き来する。⑤ダイニングから、玄関とホールを見渡す。正面の大黒柱を境に、手前は三角形の棟、奥は正方形の棟。丸太を削ってつくったイスは、ストーブにあたったり、接客したりするときに使う。



4



3

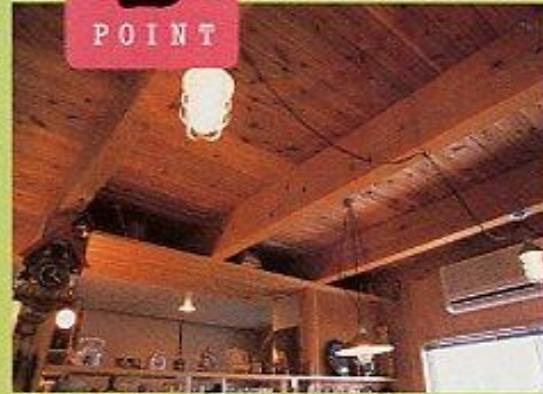
③リビングは3段スキップダウンした半地下に。左奥は2畳のコーナー和室で、リビングと一緒に使える。ここから半階分上がったところには、2階和室との間を利用してロフト状の空間を確保している。

## 住まいに健康に暮らす 3つのポイント

3

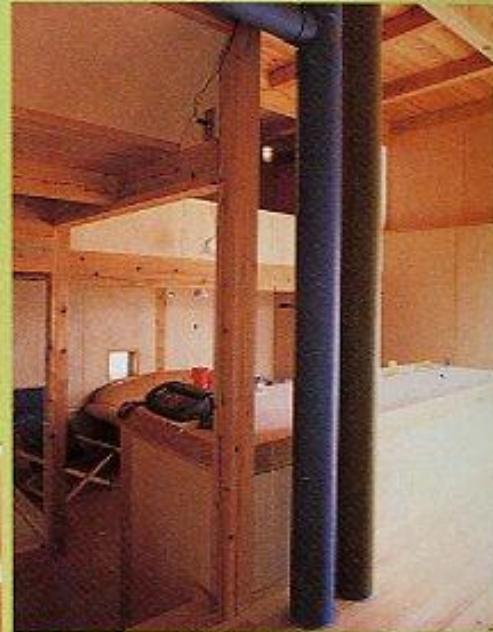
B

POINT



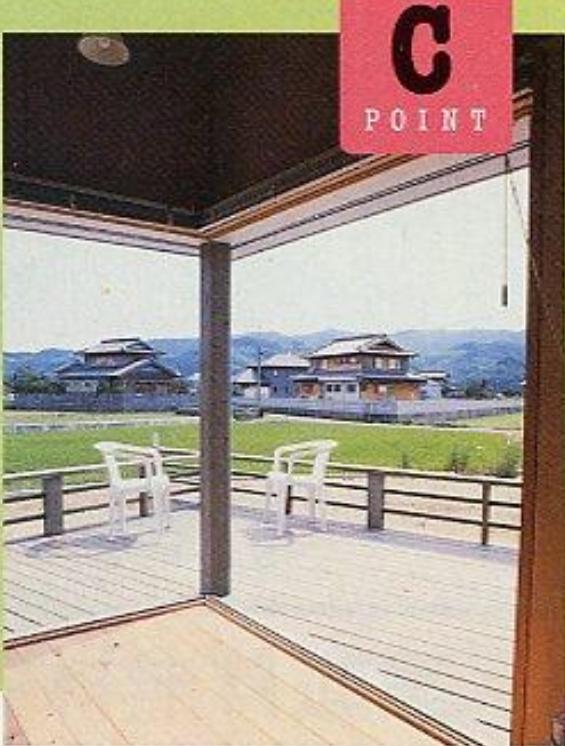
A

POINT



C

POINT



### 室内から張り出した広いトッキ

1階のホールに続くデッキにはほとんど段差なしに出られる。周辺は、田園の中に入家が点在する大らかな環境。天気のいい日には、アウトドアライフを楽しむスペースとして、いろいろと使えるそう。



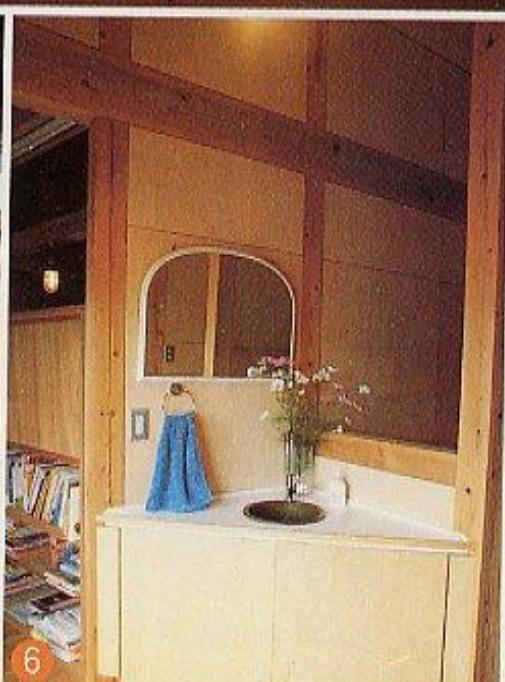
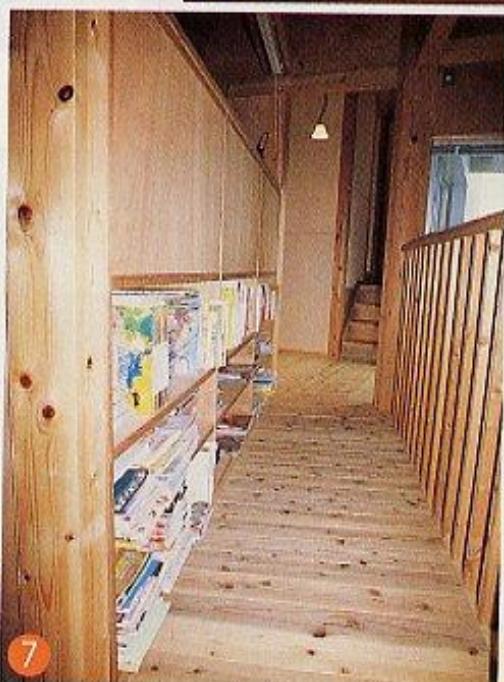
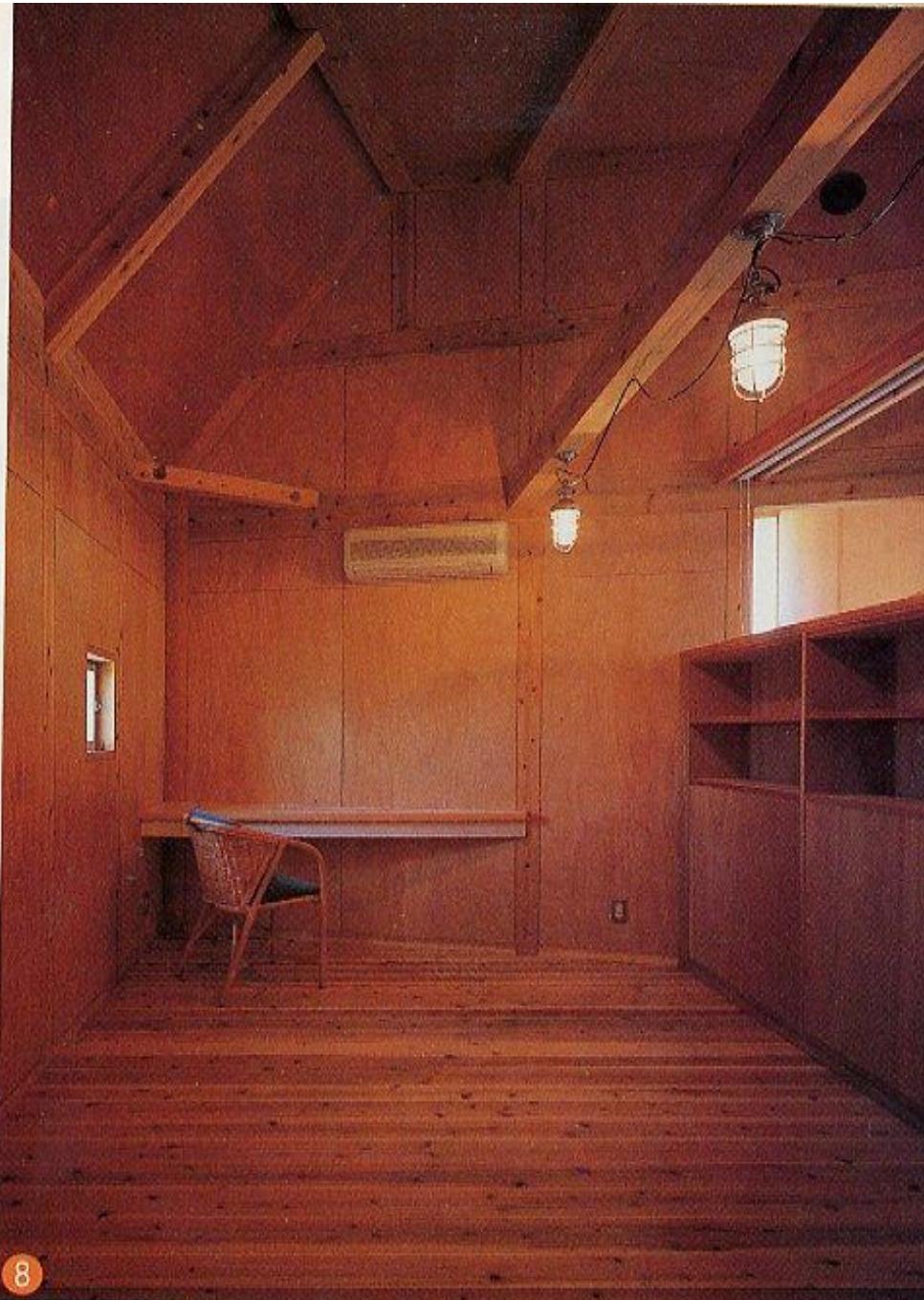
### 換気しながら 室内の暖かさは一定に

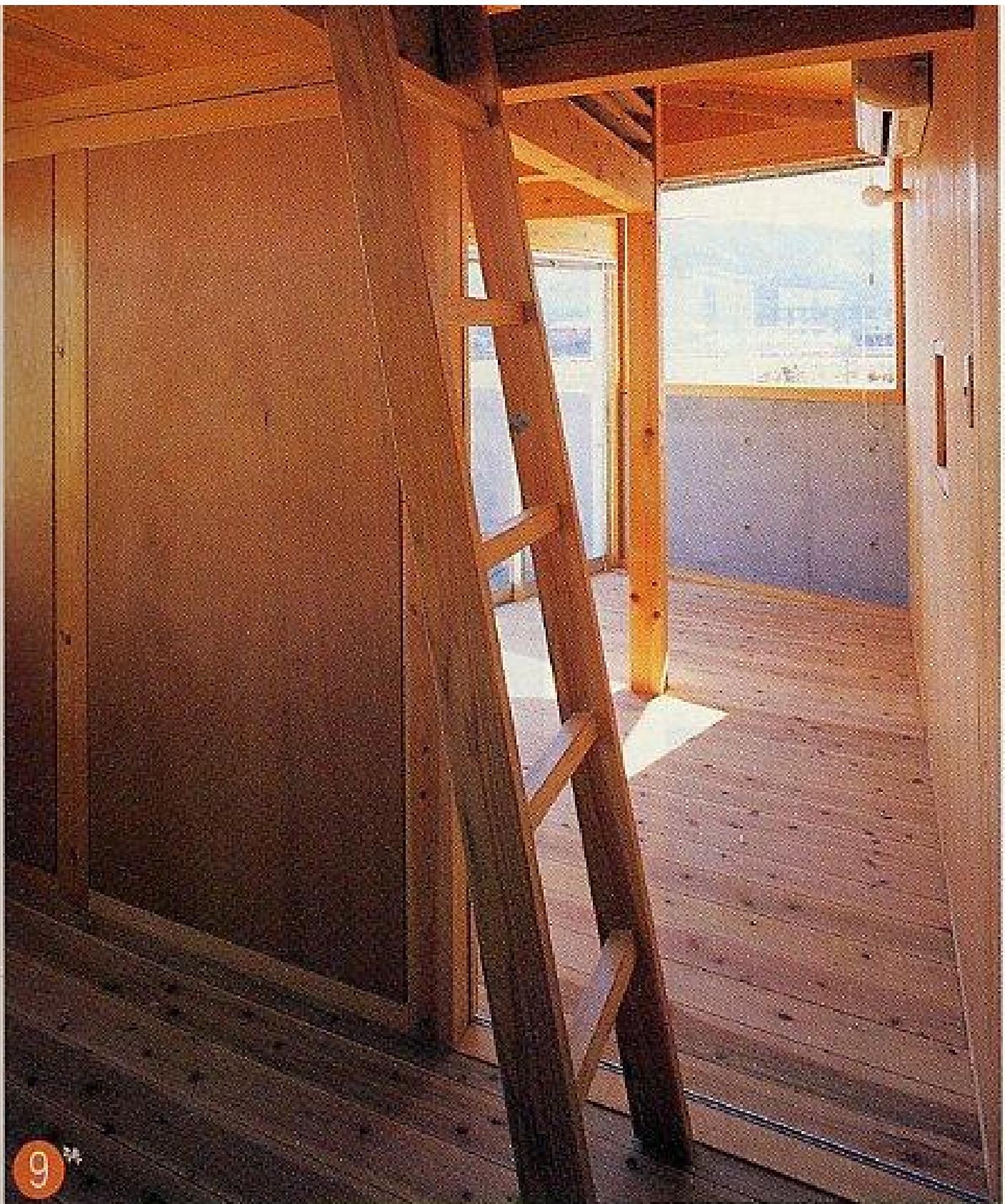
1階のホールには、水道管を通したブルーのダクトと、空気循環用のグリーンのダクトを露出させている（写真上）。この空気循環用ダクトを通して、2階にのぼった暖かさをファンの力で1階に。1階のリビングには階段に吹き出し口を設けて、暖かさと新鮮な外気とを混ぜた空気を室内に送り込む（写真左）。

部材には  
県産材もある  
スギを用いる

床や天井には、県産材でもある  
スギを用いている。全体に木質  
感をもたせながら、むき出しの  
梁で空間に迫力も。なにより、  
木の調湿機能で室内の湿度はほ  
どよく保たれるので、健康にも  
いい。

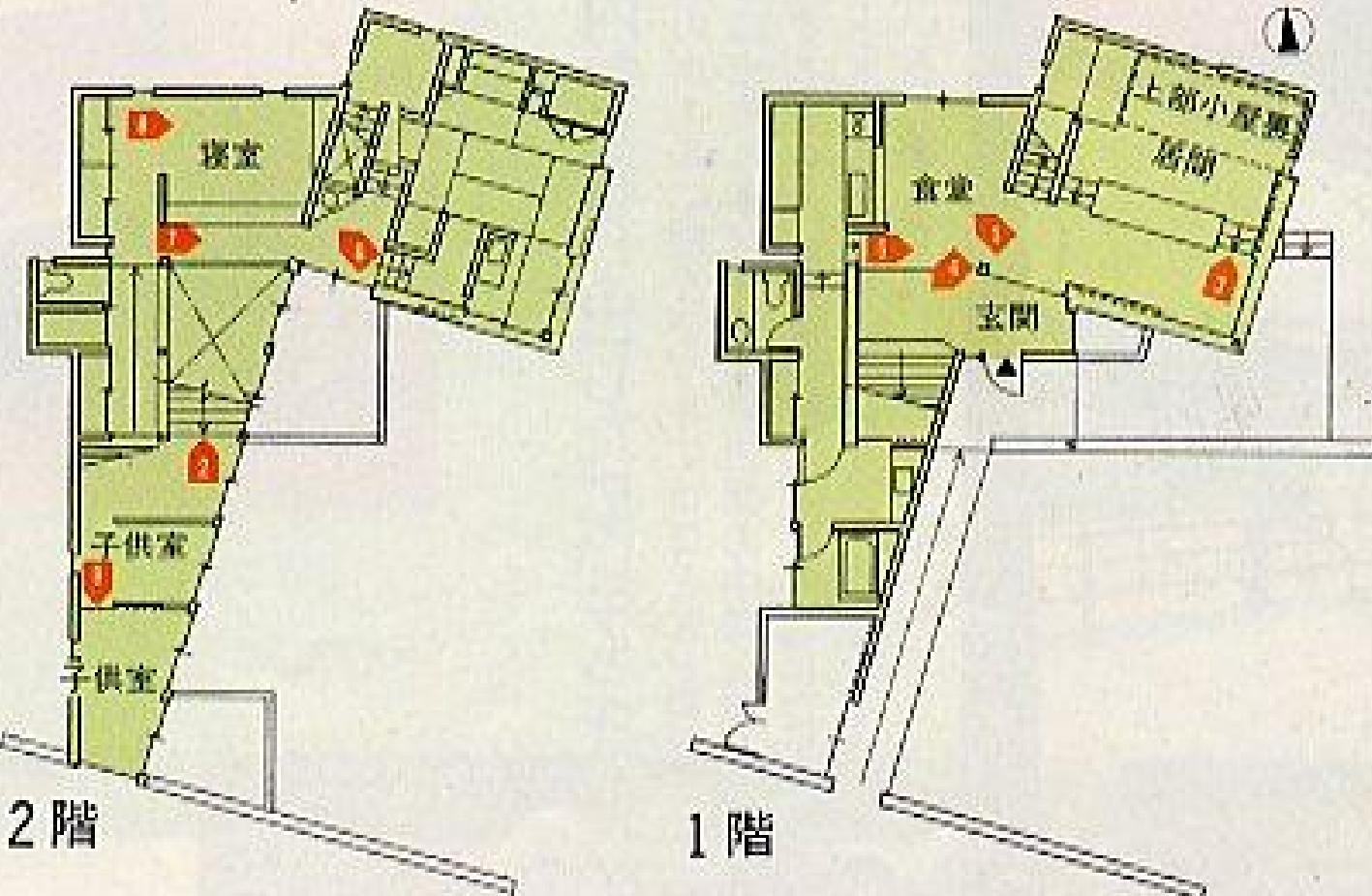
⑥ 2階の廊下には、ちょっとした手洗いコーナーを設けた。シンプルだが、使いよさそう。  
⑦ 2階の廊下と寝室との間の仕切りは、廊下側からと寝室側からとで使い分ける上下二段の本棚に。仕切りの上部はオープンにして、吹き抜けからの光を取り込める造りにしている。  
⑧ 寝室はラワン合板の壁に柱と梁を見せた真壁造りに。不規則な天井とともに、木質感の強い空間を形つくる。三角形のテーブルは書斎コーナー。





9

⑨ 2階の子供部屋はふた間続き。手前が長男用、奥が長女用で、ともにロフトを就寝用スペースに。はしごは移動式のもので、姉弟で共用している。



土地面積／約450m<sup>2</sup> (136坪)  
 延床面積／約172m<sup>2</sup> (52坪)  
 1階 約 90m<sup>2</sup> (27坪)  
 2階 約 82m<sup>2</sup> (25坪)  
 構造／木造(在来軸組構法)  
 計／富田 真二  
 (富田建築設計室  
 TEL0886-65-6506)  
 施工／アズマ建設  
 撮影／大竹 静市郎

0 1 2 3m

## どこが満足？　どこが残念？

### “和”を基調とした家で心が和む

GOOD

この家に住むようになってから、住まいに対する価値観が変わったような気がします。外からはモダンに見えますが、内部はすみずみまで、“和の精神”を基調とした手づくりのよさが感じられて、すべて満足しています。

### 上下階の温度が一定で心地よい

GOOD

「空調換気扇」を稼働させることで、冬でも1、2階の室内温度を一定に保つことができ、とくに1階は寒さが感じられず、快適です。外気を取り入れる仕組みなので換気に神経を使わなくていいので、助かります。

### 幅の広い階段とホールが使いやすい

GOOD

土間から上がる階段は幅が広く気持ちが伸び伸びとします。ホールの広さにも余裕があり、雨の日は物干し場として使って便利です。

### スキップした場所が多すぎたよう

NO GOOD

スキップフロアの部分があちこちにあるだけに、不慣れな子供はつまづいてころぶことが多いんです。もう少し段差を少なくしたほうがよかったかな、とも思っています。

## どうすれば、うまくいく？

### 専門家の意見を取り入れて

大事なのは、自分の頭の中だけで考えないで、積極的に専門家の意見を聞いたり、メディアからの情報を参考にしながら、家族に合った設計者を探し出すことでしょう。